

令和4年度  
事業報告書

第 7 期

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

一般社団法人まちづくり伊達

## 1 事業概要

当社は、「伊達地域まちづくり活性化事業」を伊達市から受託し、地域の活性化を目指し地域資源を活用した新たなまちづくり事業を官民連携により行ってきた。

平成29年6月には「まちの駅」として認定を受け、地域の交流拠点、憩いの場となっている。また、情報発信や旧伊達公民館跡地の利用、地域の活動団体との連携や商店街との連携協力により下記の4項目を事業の柱として社団目的達成のために活動している。しかしながら、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が収束しない中であって、拡大防止策を行いながら各種イベントを密にならないように小規模で事業を実施してきた。

- 1 まちなか活性化推進事業
- 2 まちなか原っぱ推進事業
- 3 伊達駅なかプラザ管理運営事業
- 4 まちなか再生・活性化調査研究事業

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

○第1回（第18回）理事会 令和4年6月2日開催

報告第1号 重要事項及び業務報告について

議案第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度入会金及び会費について

議案第2号 一般社団法人まちづくり伊達役員報酬について

議案第3号 一般社団法人まちづくり伊達令和3年度事業報告の承認について

議案第4号 一般社団法人まちづくり伊達令和3年度収支決算報告の承認について

議案第5号 令和4年度通常総会の日時及び場所並びに付議案件について

○第2回（第19回）理事会 令和5年3月17日開催

報告第2号 重要事項及び業務報告について

議案第6号 一般社団法人まちづくり伊達退職金規程の一部改正について

議案第7号 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

### (2) 決算監査 令和4年5月27日開催

### (3) 通常総会 令和4年6月14日開催

報告第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和3年度事業報告について

報告第2号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度事業計画及び収支予算について

議案第1号 一般社団法人まちづくり伊達令和3年度収支決算報告の承認について

議案第2号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度入会金及び会費について

議案第3号 一般社団法人まちづくり伊達令和4年度役員報酬について

### 3 まちなか活性化推進事業

#### (1) 商店街に人の動きをつくる新たなまちづくり事業の実施

##### ①起業者等への支援

まちなかカフェ「ふらっと」を利用する起業希望者へ調理場や客席を提供し、営業活動を通しての課題点などを明らかにしてもらい、起業に導いてきた。

##### ②起業予定者からの相談

手作り雑貨の販売を計画している方1名に対し、空き店舗の紹介や市の支援策を説明し、起業支援を行ったが、資金面等で先に進むことはできなかった。

##### ③伊達市空き店舗活用講座への協力

市が創業への意欲が高い人を対象とした講座を12月10日に当まちの駅を会場に伊達中央商店街で開催した。受講生の中で年度内に開業を希望する人向けに、まちの駅の店舗内の一角で開業できるように関係者と協議を進めてきたが、開業までは進まなかった。

#### (2) 「まちの駅」管理及び運営事業（空き店舗活用）

##### ①まちの駅の開設

平成29年5月から天王通り商店街の空き店舗を賃借し、市民が楽しみ、会話し、休憩できる場所、情報の発信を行う場を開設し、市民交流の拠点となっている。ここでは、卓球台等を設置し親子や子どもたちが放課後の居場所として利用している。特に、夏休み等の長期休業時の子どもたちの利用が特に多くなっている。なお、平成29年6月18日に全国まちの駅連絡協議会の認定を得た。

##### ②まちなか図書館の設置

市立図書館の「伊達文庫」や、市民から提供を受けた書籍やコミック本などを蔵書して、市民の希望により貸し出しをしている。

##### ③地域団体への会議集会場所として提供

地域の町内会や高齢者団体、福祉団体、農業者関係団体などに役員会や総会、会議等の利用に無料で貸出しを行った。

##### ④まちの駅としての情報発信

まちの駅の情報基地として各種の情報収集に努め、行政情報や各種フリーペーパー、民間情報誌等を備えて提供している。また、「まちの駅 まちづくり伊達」の事業内容を広く市民に知っていただくために、伊達町中央商店会が発行する感謝市チラシの裏面を活用し、イベント情報を発信している。

##### ⑤ホームページ等による情報発信

ホームページ (<https://machidukuridate.com/>) により、イベント情報、まちなか情報などを発信している。また、地域内の関連団体等の紹介も掲載している。若い人向けに令和4年4月からインスタグラムによるイベント等の情報発信を開始した。

##### ⑥ハンドメイドレンタルボックスの設置

「ハンドメイドレンタルボックス」を設置し、市内のハンドメイド制作者6名の作品の委託販売をしている。出展者からは、レンタルボックスの使用料と10%の販売手数料を頂戴している。



##### ⑦おすそ分け市場の開設

朝採り新鮮野菜等を地域の皆様に提供し、商店街に足を運んで頂くような仕組みで行っていて、新鮮野菜を求め来所することも多くなっている。出荷者から10%の販売手数料を頂戴している。

#### ⑧手作りパンの委託販売

手づくりパン事業者の商品をまちの駅で委託販売している。納品日は、火曜日と土曜日で、食パンやフルーツブレッド、あんぱん、焼き菓子等を主に販売している。委託者から5%の販売手数料を頂戴している。



#### ⑨まちの駅2階スペースの活用

まちの駅2階の住居スペースを活用しヨガやベビーマッサージ、不登校の子を持つ親のためのお話し会“ココカラ”などを開催する個人に貸し出しを行った。

#### ⑩親子料理教室

幼稚園生以上の親子を対象に、麦々工房の店主を講師に楽しく“ふっくらモチモチ”のナン作りと、簡単キーマカレー作りを10月1日に4組の親子限定で計画した。4組の申し込みがあったが、講師の体調不良により直前で取りやめとなった。

#### ⑪公的事業への参画と協力推進

伊達市の新型コロナ対策事業の「プレミアム4じもと応援券」の販売所及び取扱店となり、地域経済の活性化に寄与した。

じもと応援券の販売を7月29日～8月18日まで行い3,419セットを販売した。

#### ⑫まちなかタクシーの利用促進

以前より銀行や医院の帰りにまちなかタクシー乗車待ちの利用があり、利用者からまちの駅でタクシーチケットの販売の希望があったため8月1日から販売を開始した。

#### ⑬レンタサイクルの貸し出し

観光客向けの伊達市の新たな取り組みのレンタサイクル事業が4月から開始され、10人に自転車の貸し出しを行った。また、10月15日からの2か月間、サイクリングアプリ「ツール・ド」を使ったキャンペーンに協力した。

### (3) 商店街イベント事業の実施と支援

#### ①商店街感謝市事業の支援

- ・伊達町中央商店会が偶数月15日に行う感謝市について、中央商店会発行の広告チラシにイベント開催の記事を掲載し感謝市を盛り上げた。奇数月は独自にチラシを発行してスタンプラリーを実施し、商店街への来客を促した。
- ・スタンプラリーの参加店は年間11～13店舗で実施し、年間のお買物券交付枚数は1,412枚となり、次回来店での売上増に寄与した。

#### ②端午の節句事業の実施（5月5日）

各店舗による柏餅プレゼントによる集客事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取りながら11店舗で実施し、スタンプラリーの買物券を47枚交付した。また、まちの駅及び商店街の各店舗に伊達認定こども園と伏黒幼稚園の園児による「こいのぼり塗り絵」を4月23日から5月14日までの期間展示し、商店街に足を運ぶ仕掛けづくりを行った。

### ③年末年始の天王初市事業の実施と支援（1月2～3日）

天王通り商店街の年末年始の売り出し事業に参画し、商店街事業を支援した。天王通り商店街の参加店9店舗において、12月15日から年末売り出しを始め、買い物金額に応じてサービス券を配布し、初市の1月2日、3日に、サービス券2枚で1回の抽選を行い、参加店で利用できるお買物券520枚を交付した。また、参加店からの協賛品を詰めた福袋を20個販売し商店街の繁栄を期した。

### ④伊達町マルシェうまいものフェアの実施

伊達町マルシェ実行委員会と伊達町中央商店会、当社団が共催で“伊達町マルシェうまいものフェア”を10月16日にイベント広場で開催した。当日は、町内飲食店5店舗の特製弁当とキッチンカー1台が、自慢の商品を販売した。会場内にはクラフト作家6店舗が出店して子ども向けのワークショップ等を開催し、社団はスーパーボールすくい等のミニ縁日を行い、子どもたちに楽しさを提供した。来場者を増やすために事前にこども園等にチラシを配布したことなどから、子育て世代の来場者が多く見受けられた。



また、商店街の各店舗を巡るスタンプラリーには11店舗が加盟し、お客さんに買物券を15枚交付した。

### ⑤イルミネーションの点灯

まちなかイベント広場と伊達駅前へのイルミネーション点灯を12月10日から令和5年1月16日まで実施した。天王通りの賑わいづくりと市の玄関口の駅前の賑わいづくりに貢献した。伊達地域の冬の名物として地域に定着している。



### ⑥ひな祭り事業の実施

事業参加12店舗が特販品を用意し、お客様に日頃の感謝を込めて桜餅をプレゼントしました。また、商店街の各店舗を巡るスタンプラリーではお客さんに買物券を54枚交付した。

店内には、つるし雛を昨年より大幅に増やした96連を地域の愛好家の方から借用し2月13日～3月4日にかけて展示した。また、伊達こども園、伏黒幼稚園、リボン保育園の園児の塗り絵を展示したことで、多くの親子連れやお孫さんの作品を見る方々や地域の方が来場した。



### ⑦ちびっこ夏まつりイベントの実施

令和4年も天王祭が中止となったため、商店街に足を運ぶきっかけ作りとして、7月22日～23日に開催した。水ヨーヨー釣りや輪投げ等のミニゲームをできるようにした。



### ⑧マルシェの実施

6月から定例的な開催を目指し、伊達地方の青年農業者グループと聖光学院がコラボした“DATE&SEIKO MARCHE”を毎月第3金曜日の午後4時からまちなかの駅で開催した。このマルシェの運営は一般社団法人だてもんやが協力している。

子育て中の若いファミリーを対象とした“伊達マルシェ”を6月4日に手作り作家等6人でまちの駅で実施した。イベント告知はInstagramと作家さんのネットワークを利用し、フライヤーの配布を行い若い人に向けたPR法を初めて取り入れ、当日は多くの来店が見られた。



#### 4 まちなか原っぱ事業推進事業

##### (1) (仮称) ママノマ運営準備業務

###### ①運営体制・運営方法等の検討

運営体制・運営方法等について今までの経過等も踏まえて市役所やカフェ運営者等との協議を重ねてきた。確定ではないが指定管理として市から受託する方向で進んでいる。飲食の提供については、現在のまちカフェふらっとの事業者からは、ママノマでは営業しないとなっていることと、新たな事業者と話をしているが具体的な協議には進めていない。

また、営業許可等の関係からも運営体制等については次期の早い段階で判断しなければならない。

###### ②伊達公民館跡地利用検討委員会への参画

当初、令和3年度建設であったが、令和3年5月に長岡町内会他2団体から市長と議会に要望書・陳情書が提出された。同年11月24日に「伊達公民館跡地利活用検討委員会」が設置されて、令和5年2月27日までの期間に5回の検討委員会が開催された。

建物の概要は、平屋建てで、建築延床面積157.33㎡のうちホール面積83.21㎡、キッチン面積26.49㎡、ミーティング室12.83㎡の提案された図面で概ね了承され、建築確認申請に向けて進めていくとなった。令和5年度当初予算に「(仮称)多世代交流施設」建設費を計上し工事を進めるとの説明があった。

##### (2) まちなかカフェ「ふらっと」の運営と事業者支援

###### ①まちなかカフェ「ふらっと」で営業する起業希望者の支援

まちなかカフェ「ふらっと」では、社団は場所や機材を貸し、経営は参加者の責任で行うことで営業している。

《“ふらっと”の営業状況》

- 水曜日・木曜日 十割手打ちそば (10月まで)
- 火曜日 弁当のテイクアウト (11月15日から)
- 金曜日・土曜日 サンドウィッチ・スイーツ (※毎月第一金土は休業)

###### ②子ども食堂の開設支援

カフェふらっとがみんなの食堂(子ども食堂)を11月30日と2月2日の2回開設し、子育て中の家庭や高齢者の一人暮らしの方に弁当を提供した。当社団は食材等の資金援助を行い支援した。

##### (3) まちなか原っぱ広場管理運営業務

###### ①敷地を芝生化する

伊達公民館跡を芝生化し、子ども同士や家族など多数の方が場を利用している。芝生の管理のために肥料散布や雑草除去作業を行った。

## ②仮設トイレ等の設置

原っぱに手洗い場や仮設トイレをレンタルして設置し、原っぱ利用者の利便に供している。防犯上の観点から午前8時半頃から夕方6時前までを開放としている。

## ③遊具置場の設置で利便性向上

子ども同士や家族連れが芝生広場で自由に遊ぶことができるように、バドミントンセットやボール等の簡単な遊具を収納する物置をトイレ脇に設置している。

## 5 伊達駅なかプラザ管理運営事業

### (1) JR伊達駅「駅なかプラザ」の管理運営

伊達市の玄関口そして情報発信拠点として、JR伊達駅構内の駅なかプラザの管理運営を伊達市から受託した。駅なかプラザ直売所代表と管理運営に関する契約を取り交わし、負担区分等を明確にして行っている。

### (2) コワーキングスペース・情報発信

来訪者のための観光案内はじめ地元製品の紹介や農産物等の販売など市の情報発信を行っている。年間利用者数は、ワークボックス利用者6名、観光案内8名、地域特産品の案内24名、地域情報の案内83名となった。

## 6 まちなか再生・活性化調査研究事業

### (1) 伊達地域のまちなか再生、活性化に関するまちづくり事業

#### ① だて桜回遊事業 2022 の実施

地域の桜名所を徒歩で巡り健幸な生活を目指し、まちの再発見をする事業で75名の参加があった。参加者には、伊達地域のサクラスタンプ買物券を進呈した。

#### ② だて桜回遊フォトコンの実施

6名12点の応募があり、最優秀賞に鈴木喜三郎氏の「望」が選ばれた。



### (2) 伊達市減塩推進応援店に登録

伊達市が進めている減塩運動に参加し「伊達市減塩推進応援店」として、生活習慣病の予防と健康寿命を延ばすために、野菜を食べることの重要性を記したチラシやのぼりを掲げている。毎月17日の減塩の日にはポケットティッシュなどを配布して運動を推進した。

### (3) 大型商業施設と地域との連携及び商店街の住み分けの検討

#### ①大型商業施設の地域貢献策や商店街との連携策の調査検討

2024年度開店予定の大型商業施設の建設のために、土地区画整理事業が現在進行している。地元商店街との共存や支援策等様々な方策を検討するため、市役所や関係機関と情報交換等を行っている。11月28日に伊達市商工会サービス業部会の研修に参加し、イオンモール利府、杜の市場等の視察を行った。

#### (2) まちづくりの研修

これからの商店街をはじめ各個店の店づくり等は、住民ニーズに応えた地域コミュニティ機能への対応や、キャッシュレスなど新しい仕組みの導入によるDX化をはじめ、新

しい日常への変化の取込みなど、多くの課題に対応していく必要がある。それらの課題に対し、効率的かつ効果的に事業を展開していくために、10月12日と2月16日に開催された「東北地域中心市街地及び商店街関連セミナー」で、先進事例や課題解決のグループ討議に参加してきた。